

製造工程の自動化で マットレスの多様性に応える

課題 機械の老朽化や 作業の平準化が課題

寝心地のよさを求めたマットレスを、スプリング製造からキルティングまで一貫生産し、少ロット・多品種にも対応しているのが、株式会社チヨダコーポレーションである。年間約1万2000本程度を生産し、そのうち自社ブランド生産が30%、OEM生産が70%。日本人の睡眠時間は減少傾向にあり、寝心地に対する消費者ニーズは一層高まっており、消費者の求める質に応える製品づくりが求められている。

こうしたなか同社では、製造部門で特定の作業員に肉体的な負担が偏っているため、作業の平準化を図ることが課題だった。この課題を解決しながら完成度の高い製品をつくるには、加工精度を上げなければならないが、30年以上使っている現存の機械では、加工精度と加工スピードが対応できなかった。また、短納期を求められる一方、多品種の受注も受けてロット数も納品数に応じているため作業効率も悪い。生産数の多い年度末にはとくに受注が多く、閑散期との差もあるため、従業員に負担がかかっていた。

支援 最新設備の導入で 生産性の向上を後押し

こうした状況を踏まえて同社は、多品種・少ロット・短納期に対応でき、加えて作業効率の改善ができるように最新の設備を導入することにした。そのための資金として、ものづくり補助金を活用。北広島町商工会が支援を行った。

商工会では、時期的に専門家派遣の活用が困難だったため、広島県商工会連合会の専門員の力を借りながら、ものづくり補助金の申請支援を行うことに。4回のミーティングで課題の洗い出しや事業計画についてまとめていった。

一貫生産の流れのなかのスプリングコイル製造については、平成25年のものづくり補助金の採択により、固さや長さなど顧客ニーズに合わせたスプリングコイルの生産が可能になった。一方、キルティングは多針キルティングを借入金で導入していたが、マットレスを仕上げるための縫製機械は30年以上使っていて、顧客の求める精度に加工するためには時間がかかっていた。

2回目の平成30年のものづくり補助金では、設備の導入により、縫製にかかる時間を短縮。短納期化による新規顧客



マットレスの製造工程

への展開、創造性を発揮した製品に対する顧客満足度の向上で、商圏の拡大を目指した。工場内の体制も見直し、従業員のスキルアップによる質の高い製品づくりについて洗い出し、計画に反映させていった。その結果、縫製にかかる時間は、1時間あたり6.2枚から7.5枚に向上と20%アップ。工場全体の生産数も向上した。

新設備の導入で生産性が向上し、納期も短縮。今後の受注と売り上げの増加が期待される。

支援の経過

期間	支援内容
H25年6月	ものづくり補助金の申請支援
H30年1月	ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：株式会社チヨダコーポレーション
住所：広島県山県郡北広島町春木字小山1125
電話番号：0826-72-2091
URL：http://chiyoda-corp.co.jp
代表者名：代表取締役 山中雅俊
創業年：昭和40年
年間売上高：8億4076万円（平成29年）
従業員数：25名
商工会名・担当者名：北広島町商工会・藤井真吾